

2026年 5月 22日

各 位

ネイチャーポジティブ宣言の制定について

当社（社長：池信 省爾）は、自然資本の保全・回復と事業の持続的な成長の両立を重要な経営課題と位置づけ、国際生物多様性の日（5月22日）に合わせ、このたび「三井金属グループ ネイチャーポジティブ宣言」を制定しましたので、お知らせいたします。

当社グループは、鉱山での採掘や製錬、素材製造といった事業を通じ、長年にわたり自然資本と深く関わりながら事業活動を行ってきました。自然は守る対象であると同時に事業活動の前提条件でもあり、その損失を止め、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」の実現は、当社グループの中長期的な価値創造や事業レジリエンスの向上につながるものと認識しています。

近年、昆明・モントリオール生物多様性枠組（GBF）の採択や、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）による提言の公表など、自然資本・生物多様性を巡る国際的な議論と要請が高まっています。本宣言は、こうした国際動向を踏まえ、当社グループのパーパスおよび環境基本方針に基づき、気候変動対応と両輪で、ネイチャーポジティブ社会の実現に向けて取り組む姿勢を示すものです。

当社グループは、すでにTNFD提言への賛同およびTNFD Adopter登録（※）を実施しておりますが、本宣言を指針として、自然資本・生物多様性に関する取り組みの深化と、情報開示の充実に向けた検討を一層進めてまいります。

[※2025年10月20日ニュースリリース「TNFD提言への賛同について」](#)

以 上

【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5437-8028 E-mail PR@mitsui-kinzoku.com



三井金属グループ ネイチャーポジティブ宣言

三井金属グループは、永年にわたり自然資本と深く関わりながら、鉱山での採掘や製錬、素材製造といった事業を通じて、社会の発展に寄与してきました。

私たちの事業にとって、自然は守る対象であるだけでなく、事業活動が成立するための重要な前提条件でもあります。

こうした事業特性を有するからこそ、自然の損失を止め、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」の実現は、三井金属グループの持続的な価値創造と事業レジリエンスを支える重要な経営課題であると認識しています。

三井金属グループのパーパス「探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。」および環境基本方針に基づき、気候変動対応と両輪で、国際的な目標となっているネイチャーポジティブ社会の実現に向け、これらの視点を組み込んだ経営や事業活動を行ってまいります。

ネイチャーポジティブに向けた私たちのコミットメント

1. 事業と自然の関係を可視化する

TNFD提言に基づき、LEAPアプローチを活用して、自社事業およびサプライチェーンにおける自然資本への依存と影響、ならびにリスクと機会の把握を進めます。

2. 自然への負の影響を回避・最小化し、保全・回復に取り組む

特定されたリスクと機会について、保護地域を含む地域特性を踏まえ、土地利用、水資源、化学物質の排出、生態系への影響を管理し、生物多様性保全・回復の取組みを継続・強化します。

3. ネイチャーポジティブを価値創造につなげる

自然資本への対応を、当社グループの技術力と事業知見を活かした新たな事業の探索や価値創造につなげていきます。

4. ステークホルダーと共に推進する

事業を行う拠点の地域住民や行政、取引先、専門家などのステークホルダーとの対話と連携を通じて、地域に根ざした自然共生の取組みを推進します。

2026年5月22日
三井金属株式会社

